

第4期障がい福祉計画のサービス見込み量に対する実績について

サービス種別		単位		27年度	28年度	29年度	29年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況に 応じて1～5の 数字を入力	達成状況	評価と課題				
指定障 害福 祉サ ービ ス	訪問系 サ ービ ス	居宅介護	時間分 (月)	計画(a)	33,125	36,380	39,941		3	計画した見込み量に 対して、やや達成 できなかった (60%以上～80%未 満)	指定事業所にお けるヘルパー人 材の確保や利用 者のニーズに応 じた指定事業所 の確保が課題で ある。			
			実績(b)	26,561	27,193	25,492	63.8%							
		人分(月)	計画(a)	1,079	1,185	1,301								
			実績(b)	960	1,029	1,038	79.8%							
		行動援護	時間分 (月)	計画(a)	1,354	1,429	1,504					2	計画した見込み量 に対して、達成 できなかった (60%未満)	指定事業所が少 ないため、利用 者のニーズに応 じた指定事業所 の確保が課題で ある。一方で、 複数の長時間利 用者が施設入所 等したこと、サ ービスの利用要 件の精査を行った ことから利用実 績が減少した。
			実績(b)	783	730	598	39.8%							
	人分(月)	計画(a)	72	76	80									
		実績(b)	62	59	51	63.8%								
	同行援護	時間分 (月)	計画(a)	4,107	4,365	4,623		4	計画した見込み量 に対して、ほぼ 達成できた(80% 以上～100%未 満)	指定事業所にお けるヘルパー人 材の確保や利用 者のニーズに応 じた指定事業所 の確保が課題で ある。				
		実績(b)	3,794	4,110	4,004	86.6%								
	人分(月)	計画(a)	191	203	215									
		実績(b)	185	203	208	96.7%								
重度訪問介護	時間分 (月)	計画(a)	13,383	15,915	18,447		2				計画した見込み量 に対して、達成 できなかった (60%未満)	指定事業所にお けるヘルパー人 材の確保や利用 者のニーズに応 じた指定事業所 の確保が課題で ある。一方で、 利用者の長期 入院等により利 用実績の減少が あった。 また、平成26年 4月からは、知 的・精神障がい 者で行動上著し い困難を有し、 常時介護を必要 とする方も対象 者として拡大し たため、行動障 がいの支援技術 を持つヘルパー の確保も課題で ある。		
	実績(b)	10,438	8,827	11,061	60.0%									
人分(月)	計画(a)	37	44	51										
	実績(b)	26	24	23	45.1%									
重度障がい者等包括支援	時間分 (月)	計画(a)	372	372	372			1	その他	指定事業所がな いため、利用ニ ーズはあるが、 他のサービスで 対応している。				
	実績(b)	0	0	0	0.0%									
人分(月)	計画(a)	1	1	1										
	実績(b)	0	0	0	0.0%									
日中活 動系 サ ービ ス	短期入所（福祉型）	人日分 (月)	計画(a)	1,394	1,445	1,496					5	達成できた(100% 以上)	緊急の利用が限 られていたり、 必ずしも利用者 の希望に沿った 利用はできてい ないものの、事 業所の新規指定 の増加などによ り、在宅生活の 充実は図られて きている。	
		実績(b)	1,552	1,999	2,353	157.3%								
	人分(月)	計画(a)	238	255	273									
		実績(b)	251	341	356	130.4%								
	短期入所（医療型）	人日分 (月)	計画(a)	190	197	204		2	計画した見込み量 に対して、達成 できなかった (60%未満)	事業所が病院等 の医療機関に限 られているため、 利用者のニーズ に応じた指定事 業所の確保が課 題である。				
		実績(b)	135	154	134	65.7%								
人分(月)	計画(a)	39	42	44										
	実績(b)	27	25	23	52.3%									
生活介護	人日分 (月)	計画(a)	28,798	30,096	31,460		4				計画した見込み量 に対して、ほぼ 達成できた(80% 以上～100%未 満)	利用者のニーズ に応じた指定事 業所、特に医療 的ケア、入浴サ ービス及び強度 行動障がい者へ の支援の体制確 保及び、増加す る特別支援学校 卒業生の受け入 れが可能な指定 事業所の確保が 課題である。		
	実績(b)	26,271	26,910	26,788	85.1%									
人分(月)	計画(a)	1,309	1,368	1,430										
	実績(b)	1,313	1,333	1,371	95.9%									

サービス種別		単位		27年度	28年度	29年度	29年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況に 応じて1～5の 数字を入力	達成状況	評価と課題	
指定 障害 福祉 サー ビス	日中活動系 サー ビス	療養介護	人分(月)	計画(a)	110	110	110		4	計画した見込み量に 対して、ほぼ達成 できた(80%以上 ～100%未満)	指定事業所が少 ないため、利用 者のニーズに応 じた指定事業所 の確保が課題 であるが、対象 が医療機関であ り、事業所が増 えにくいという 課題がある。
			実績(b)	109	110	109	99.1%				
		就労移行支援	人日分 (月)	計画(a)	4,510	5,170	5,830		3	計画した見込み量に 対して、やや達 成できなかった (60%以上～80% 未満)	指定事業所の増 加に伴い利用者 数も増加してい る。利用者の就 労ニーズに応じ た指定事業所の 確保が必要であ る。
				実績(b)	3,828	2,822	3,245	55.7%			
			人分(月)	計画(a)	205	235	265				
				実績(b)	174	154	176	66.4%			
		就労継続支援 (A型)	人日分 (月)	計画(a)	3,674	5,016	6,864		4	計画した見込み量に 対して、ほぼ達 成できた(80% 以上～100%未 満)	生産活動の採算 性が低く、経営 改善計画の対象 となっている指 定事業所がある ことから、運営 の適正化が必要 である。
	実績(b)			4,466	5,315	5,472	79.7%				
	人分(月)		計画(a)	167	228	312					
			実績(b)	203	246	254	81.4%				
	就労継続支援 (B型)	人日分 (月)	計画(a)	29,458	31,812	34,342		5	達成できた(100% 以上)	指定事業所の増 加に伴い利用者 数も増加してい る。地域によっ て指定事業所数 に偏りがあるこ とから、利用希 望者を安定的に 受け入れられる 体制の確保が必 要である。	
			実績(b)	31,240	29,797	31,871	92.8%				
		人分(月)	計画(a)	1,339	1,446	1,561					
			実績(b)	1,420	1,545	1,756	112.5%				
自立訓練 (機能訓練)	人日分 (月)	計画(a)	462	462	462		2	計画した見込み量に 対して、達成で きなかった(60% 未満)	事業所の数が限 られるため、利 用者のニーズに 応じた事業所の 確保が課題。		
		実績(b)	528	299	155	33.5%					
	人分(月)	計画(a)	21	21	21						
		実績(b)	24	21	13	61.9%					
自立訓練 (生活訓練・日中)	人日分 (月)	計画(a)	1,430	1,562	1,562		4	計画した見込み量に 対して、ほぼ達 成できた(80% 以上～100%未 満)	事業所の増加に よって、サービ スの充実が図ら れた。		
		実績(b)	704	1,699	1,478	94.6%					
	人分(月)	計画(a)	65	71	71						
		実績(b)	32	109	108	152.1%					
自立訓練 (生活訓練・夜間)	人日分 (月)	計画(a)	547	547	547		4	計画した見込み量に 対して、ほぼ達 成できた(80% 以上～100%未 満)	事業所の数が限 られるため、利 用者のニーズに 応じた事業所の 確保が課題であ る。		
		実績(b)	517	429	449	82.1%					
	人分(月)	計画(a)	18	18	18						
		実績(b)	17	15	17	94.4%					
サー 住 居 系 サー ビス	施設入所支援	人分(月)	計画(a)	648	648	648		4	計画した見込み量に 対して、ほぼ達 成できた(80% 以上～100%未 満)	待機者の定期的 な現状確認を行 い、必要なサー ビスの利用促進 を図る必要があ る。	
		実績(b)	621	623	615	94.9%					
共同生活援助 (グループホーム)	人分(月)	計画(a)	388	438	488		4	計画した見込み量に 対して、ほぼ達 成できた(80% 以上～100%未 満)	比較的軽度の障 がい者を受け入 れる事業所は増 加しているもの 、重度の障がい 者を受け入れる 事業所の確保が 課題となってい る。		
		実績(b)	366	366	446	91.4%					

サービス種別		単位		27年度	28年度	29年度	29年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況に 応じて1～5の 数字を入力	達成状況	評価と課題
相談支援	計画相談支援	人(月)	計画(a)	734	769	804		5	達成できた(100%以上)	障害福祉サービス利用者の増加に伴い、サービス等利用計画の作成を担う相談支援専門員の確保が課題である。
			実績(b)	805	849	923	114.8%			
	地域移行支援	人(月)	計画(a)	17	19	22		2	計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)	地域移行支援のシステム構築と、それを担う事業所の確保が課題である。
			実績(b)	1	2	1	4.5%			
	地域定着支援	人(月)	計画(a)	28	28	28		2	計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)	地域定着支援のシステム構築と、それを担う事業所の確保が課題である。
			実績(b)	2	3	6	21.4%			
障がい児支援	児童発達支援	人日分(月)	計画(a)	1,837	2,145	2,508		5	達成できた(100%以上)	事業所数の増加に伴い、利用者数、サービス量とも大幅に増加している。今後はサービスの質の確保も課題となる。
			実績(b)	1,901	2,586	3,734	148.9%			
		人分(月)	計画(a)	167	195	228				
			実績(b)	203	295	439	192.5%			
	児童発達支援センター(福祉型)	箇所	計画(a)	1	1	1		5	達成できた(100%以上)	新潟市立児童発達支援センターにおいてサービスの提供が行われた。事業所数が限られるため、利用者のニーズに応じた事業所の確保が課題となる。
			実績(b)	1	1	1	100.0%			
	医療型児童発達支援	人日分(月)	計画(a)	113	113	113		5	達成できた(100%以上)	新潟県はまぐみ小児療育センターにおいてサービスの提供が行われた。事業所数が限られるため、利用者のニーズに応じた事業所の確保が課題となる。
			実績(b)	140	140	104	92.0%			
		人分(月)	計画(a)	20	20	20				
			実績(b)	22	25	21	105.0%			
	児童発達支援センター(医療型)	箇所	計画(a)	1	1	1		5	達成できた(100%以上)	新潟県はまぐみ小児療育センターにおいてサービスの提供が行われた。事業所数が限られるため、利用者のニーズに応じた事業所の確保が課題となる。
			実績(b)	1	1	1	100.0%			
	放課後等デイサービス	人日分(月)	計画(a)	3,346	3,556	3,766		5	達成できた(100%以上)	事業所数の増加に伴い、利用者数、サービス量とも大幅に増加している。事業所の指定取消が発生するなど、サービスの質の確保が課題となっている。
			実績(b)	4,659	6,974	8,753	232.4%			
		人分(月)	計画(a)	478	508	538				
実績(b)			426	533	682	126.8%				
保育所等訪問支援	人日分(月)	計画(a)	2	2	2		1	その他	市内に事業所がなく、サービス提供できていない状態にある。	
		実績(b)	0	0	0	0.0%				
	人分(月)	計画(a)	2	2	2					
		実績(b)	0	0	0	0.0%				
障がい児相談支援	人分(月)	計画(a)	111	120	131		5	達成できた(100%以上)	障害児通所支援利用者の増加に伴い、障害児支援利用計画の作成を担う相談支援専門員の確保が課題である。	
		実績(b)	185	280	279	213.0%				
障がい児入所施設(福祉型)	人分(月)	計画(a)	24	25	26		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	福祉型入所施設において福祉サービスの提供が行われた。(措置施設含む)	
		実績(b)	24	24	23	88.5%				
障がい児入所施設(医療型)	人分(月)	計画(a)	12	12	12		3	計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	医療型入所施設等において福祉サービスの提供及び治療を行った。(措置施設含む)	
		実績(b)	10	10	8	66.7%				

サービス種別		単位		27年度	28年度	29年度	29年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況に 応じて1～5の 数字を入力	達成状況	評価と課題	
地域生活 支援事業	理解促進研修・啓発事業	実施の有無	計画(a)	有	有	有		5	達成できた(100%以上)	市民に広く障がいや障がいのある人、福祉についての関心や理解を深めてもらうため、「まちなか障がい福祉フェス(H29.12.2、イオンモール新潟南)」を開催した。	
			実績(b)	有	有	有	100.0%				
	自発的活動支援事業	実施の有無	計画(a)	有	有	有		5	達成できた(100%以上)	展示会・見本市・イベント・バザー等の開催・参加に係る経費等に対して補助金(授産製品販路拡大事業補助金)を交付した。また、ボランティア講座を年間で2回実施した。	
			実績(b)	有	有	有	100.0%				
	相談支援事業	障がい者等相談支援事業	箇所	計画(a)	4	4	4		5	達成できた(100%以上)	基幹相談支援センターで役割を担っている。
				実績(b)	4	4	4	100.0%			
	相談支援事業	基幹相談支援センター	設置の有無	計画(a)	有	有	有		5	達成できた(100%以上)	平成27年4月に市内4か所に開設し相談業務を担っている。
				実績(b)	有	有	有	100.0%			
	相談支援事業	住宅入居等支援事業	実施の有無	計画(a)	有	有	有		5	達成できた(100%以上)	基幹相談支援センターで役割を担っている。
				実績(b)	有	有	有	100.0%			
	成年後見制度利用支援事業		人(年)	計画(a)	8	10	12		5	達成できた(100%以上)	事業が周知されてきたことに伴い、実績が計画を大幅に上回った。財源の確保が課題である。
				実績(b)	22	35	48	400.0%			
	成年後見制度法人後見支援事業		実施の有無	計画(a)	有	有	有		5	達成できた(100%以上)	新潟市社会福祉協議会が実施する法人後見事業を支援した。
				実績(b)	有	有	有	100.0%			
	意思疎通支援事業	手話通訳者設置事業	人(年)	計画(a)	11	11	11		5	達成できた(100%以上)	意思疎通支援者の派遣コーディネート業務と窓口に来庁した聴覚障がい者への意思疎通支援がスムーズに行われた。
				実績(b)	11	11	11	100.0%			
	意思疎通支援事業	手話奉仕員・要約筆記奉仕員派遣事業	派遣延べ人数(年)	計画(a)	2,222	2,421	2,640		3	計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	意思疎通支援者の派遣申請が年々増えているため、意思疎通支援者の養成・確保が課題である。
				実績(b)	1,956	2,067	2,082	78.9%			
	移動支援事業		人(年)	計画(a)	1,215	1,288	1,365		5	達成できた(100%以上)	登録事業所におけるヘルパー人材の不足などにより、利用者のニーズに応じたサービス提供ができていない状況である。今後は、ヘルパー人材の確保が課題となる。
				実績(b)	1,199	1,245	1,262	92.5%			
延時間(年)			計画(a)	105,860	107,342	108,845					
			実績(b)	117,107	123,169	120,167	110.4%				
日常生活用具給付等事業	介護訓練支援用具	件(年)	計画(a)	55	55	55		5	達成できた(100%以上)	在宅の障がい者児の日常生活を容易にするため、障がいの内容や家庭の状況等に応じた給付品目の検討を行う必要がある。	
			実績(b)	42	45	61	110.9%				
	自立生活支援用具	件(年)	計画(a)	187	187	187		3	計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	在宅の障がい者児の日常生活を容易にするため、障がいの内容や家庭の状況等に応じた給付品目の検討を行う必要がある。	
			実績(b)	178	172	145	77.5%				
	在宅療養等支援用具	件(年)	計画(a)	228	228	228		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	在宅の障がい者児の日常生活を容易にするため、障がいの内容や家庭の状況等に応じた給付品目の検討を行う必要がある。	
			実績(b)	211	205	195	85.5%				
	情報・意思疎通支援用具	件(年)	計画(a)	195	195	195		5	達成できた(100%以上)	平成27年度から人工喉頭(埋込型用人工鼻)、平成28年度から視覚障がい者用デジタル放送対応ラジオを給付品目に加えたことにより給付件数が増加した。	
実績(b)			300	454	368	188.7%					
排せつ管理支援用具	件(年)	計画(a)	14,005	14,626	15,274		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できなかった(80%以上～100%未満)	在宅の障がい者児の日常生活を容易にするため、障がいの内容や家庭の状況等に応じた給付品目の検討を行う必要がある。		
		実績(b)	13,084	14,002	14,012	91.7%					
居宅生活動作補助用具(住宅改修費)	件(年)	計画(a)	29	29	29		3	計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	在宅の障がい者児の日常生活を容易にするため、障がいの内容や家庭の状況等に応じた給付品目の検討を行う必要がある。		
		実績(b)	24	21	18	62.1%					

サービス種別		単位		27年度	28年度	29年度	29年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況に 応じて1～5の 数字を入力	達成状況	評価と課題	
地域生活支援事業	地域活動支援センター	基礎的事業（自市分）	箇所	計画(a)	43	45	47		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	地域活動支援センターⅢ型事業所については、就労支援B型事業所など指定障がい福祉サービス事業所へ移行する事業所もあったので、総事業所数としては現状維持の状況にある。1日の利用者数が少ない事業所も見受けられるので、補助基準の見直しに合わせて、適正規模化を図る必要がある。
				実績(b)	41	38	36	76.6%			
			人(年)	計画(a)	963	993	1,023				
				実績(b)	1,162	1,058	1,220	119.3%			
		基礎的事業（他市町村分）	箇所	計画(a)	2	2	2				
				実績(b)	2	2	2	100.0%			
			人(年)	計画(a)	29	32	35				
				実績(b)	26	27	28	80.0%			
	機能強化事業（自市分）	箇所	計画(a)	31	33	35					
			実績(b)	31	28	29	82.9%				
		人(年)	計画(a)	755	785	815					
			実績(b)	1,020	901	1,055	129.4%				
	機能強化事業（他市町村分）	箇所	計画(a)	2	2	2					
			実績(b)	2	2	2	100.0%				
		人(年)	計画(a)	29	32	35					
			実績(b)	26	27	28	80.0%				
発達障がい者支援センター運営事業	箇所	計画(a)	1	1	1						
		実績(b)	1	1	1	100.0%					
	人(年)	計画(a)	1,200	1,200	1,200						
		実績(b)	1,039	1,272	1,369	114.1%					
障がい児等療育支援事業	箇所	計画(a)	1	1	1						
		実績(b)	1	1	1	100.0%					
専門性の高い意思疎通支援を行う者の養成研修事業	要約筆記者養成研修事業	登録見込み者数	計画(a)	89	99	109					
		実績(b)	61	69	75	68.8%					
	盲ろう者向け通訳・介助員養成研修事業	登録見込み者数	計画(a)	53	56	59					
		実績(b)	52	52	52	88.1%					
専門性の高い意思疎通支援を行う者の派遣事業	盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業	実利用人数	計画(a)	11	11	11					
		実績(b)	11	11	13	118.2%					
	派遣延べ人数(年)	計画(a)	1,155	1,340	1,554						
		実績(b)	862	938	1,003	64.5%					

サービス種別		単位		27年度	28年度	29年度	29年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況に 応じて1～5の 数字を入力	達成状況	評価と課題
地域生活支援事業	日中一時支援事業	日分(年)	計画(a)	15,023	15,624	15,936		5	達成できた(100%以上)	日中活動系事業所が開所していない時間帯の利用ニーズが高く、新規事業所の追加登録があったことで利用者数の増加となった。利用者のニーズ把握及びニーズに応じた登録事業所の確保が課題である。
			実績(b)	16,733	14,491	19,423	121.9%			
	訪問入浴サービス事業	人(年)	計画(a)	67	71	75		3	計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	継続した利用者が多く、通所施設で入浴を実施する事業所も増加していることから極端に増加することはない見込みである。利用者のニーズを把握しながらサービスを提供していく必要がある。
			実績(b)	54	47	51	68.0%			
	更生訓練費・施設入所者 就職支度金給付事業	件(年)	計画(a)	2,390	2,480	2,573		5	達成できた(100%以上)	概ね計画どおり利用者が増加し、社会参加の促進に寄与していくことができた。
			実績(b)	2,416	3,174	3,250	126.3%			
	福祉ホーム事業	箇所	計画(a)	2	2	2		2	計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)	平成29年度末で恵松福祉苑が事業廃止したことにより、市内に福祉ホームが存在なくなった。今後は、グループホームが住居を求める障がい者の受け皿となる。
			実績(b)	1	1	1	50.0%			
		人(年)	計画(a)	13	13	13				
			実績(b)	9	8	8	61.5%			
	障がい者ITサポートセンター運営事業	箇所	計画(a)	1	1	1		5	達成できた(100%以上)	教育・医療機関と連携することで、潜在的なニーズを掘り起こす必要がある。
			実績(b)	1	1	1	100.0%			
手話奉仕員等 養成研修事業	手話奉仕員養成 研修	登録者数 (人)	計画(a)	101	106	111		5	達成できた(100%以上)	登録者数は一定数確保されているが、より質の高い奉仕員を養成する必要がある。
			実績(b)	112	124	124	111.7%			
手話奉仕員等 養成研修事業	要約筆記奉仕員 養成研修	登録者数 (人)	計画(a)	121	126	131		3	計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	当事業の周知を図り、講座受講者を増やすとともに、質の高い奉仕員を養成する必要がある。
			実績(b)	85	93	93	71.0%			